

新たな県立病院改革プランについて

- ◇ 県立病院が、地域住民の健康をしっかりと守ることができる医療を確保することを前提に、『地域をささえ、つなぎ、共にすすむ』『病院経営の効率化』を基本目標として、平成29年度から令和2年度までの4年間における病院経営の指針として策定したもの。
- ◇ 「Ⅰ 各県立病院で果たすべき基本的役割」、「Ⅱ 医療の質の向上の取組」「Ⅲ 県立病院事業の経営効率化に向けた収支計画」を取組内容とし、その取組状況を毎年進行管理していく。

＜改革プランの経過＞

- ① 県立病院改革プラン：平成21年度～平成25年度
- ② 第2次県立病院改革プラン：平成26年度～平成28年度
- ③ 新たな県立病院改革プラン：平成29年度～令和2年度

＜経営評価委員会の主な役割＞

県立病院改革プランの取組状況を点検・評価し、病院局及び各県立病院に対して意見・助言を行うこと。

新たな県立病院改革プラン進行管理

Ⅰ 県立病院の取組状況 P. 2

■ 各県立病院の基本的役割を果たすために必要となる主要な取組の実績

基本的役割				
中山間地域における救急医療等の提供と地域づくりへのチャレンジ		先進的な精神科医療の提供	震災からの復興・再生を支える安心な医療の提供	
南会津病院	宮下病院	矢吹病院	ふたば医療センター	
			附属病院	ふたば復興診療所

Ⅱ 医療の質の向上の取組状況 P. 3～7

■ 各県立病院における医療の質の向上に向けて実施する病院機能評価等の結果

病院機能評価	各県立病院の組織全体の運営管理と提供する医療について「患者中心の医療」「良質な医療」「チーム医療」「組織運営」の各領域の項目（一般病院：89項目、精神病院：92項目）を外部審査等により評価 → 外部審査：5年に1回受審 中間検査：外部審査認定後3年目に受審 自主点検：上記審査等以外の年に実施
数値目標評価	病院機能評価の項目の中から各県立病院で設定した数値目標の評価 → 目標評価：目標値達成状況の自己評価（定量評価）

Ⅲ 経営の効率化に向けた取組状況 P. 8

- 患者状況
- 決算状況
- 収支計画の目標「政策医療経費の繰入」「累積欠損金の処理」の状況

I 県立病院の取組状況

【基本的役割】

中山間地域における救急医療等の提供と地域づくりへのチャレンジ

南会津病院(98床)

院長 佐竹 賢仰



◆救急医療の水準確保

- 南会津地域唯一の救急告示病院として、『断らない救急』を目指し、24時間365日体制で救急医療を実施

	H29	H30	R1
救急車受入(回)	685	712	685
時間外患者(人)	3,586	3,403	3,346

◆公的診療所等への診療応援

- 只見町朝日診療所等への応援を実施

	H29	H30	R1
国保診療所(回)	26	42	65
特養老人ホーム(回)		55	67

※H30より、地域医療支援C(南会津広域町村組合)が行っていた訪問診療について継承

◆人材育成

- 臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生等を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材確保に協力

	H29	H30	R1
初期臨床研修医(人)	14	11	13
地域医療実習(人)	3	3	1

◆訪問看護ステーションの運営

- 平成29年11月に開設した「訪問看護ステーション」により患者の在宅療養を支援

	H30	R1
訪問看護利用者(人)	981	1,928

◆地域住民の健康増進への支援

- 医療講演会の他、小児科医による医療相談会を郡内4会場で開催
- 平成30年11月、認知症疾患医療センター指定を受け、業務を開始
- 令和2年1月、ICTを活用した県立医大からの透析の遠隔管理を開始

	H29	H30	R1
医療講演会(回)	19	29	9
医療相談会(回・人)	7・100	5・100	4・70

宮下病院(32床)

院長 浅野 宏
(R2.4～横山 秀二 院長)



◆救急医療の水準確保

- 救急協力病院として、必要な医療機能や病床を確保するとともに、地域の医療機関等と連携して救急医療を実施

	H29	H30	R1
救急車受入(件)	79	78	81
時間外患者(人)	548	525	538

◆公的診療所等への診療応援

- 金山町国保診療所等への応援を実施

	H29	H30	R1
国保診療所(回)	153	150	161
特養老人ホーム(回)	68	71	70

◆人材育成

- 臨床研修医や地域医療に関心を持つ医学生や看護学生等を受け入れ、地域医療への理解促進や将来的な医療人材確保に協力

	H29	H30	R1
初期臨床研修医(人)	6	7	6
地域医療実習(人)	9	9	7

◆訪問診療・訪問看護等の充実

- 地域住民が安心して在宅療養ができる訪問診療・訪問看護を実施し、平成30年11月から、更に介護保険に係る訪問看護を開始
- 出前講座などを通じた地域住民の健康増進を支援
- 平成29年4月から、在宅療養生活支援外来「愛ばんしょ外来」を運営し、院内健康教室を実施

	H29	H30	R1
訪問診療(件)	57	41	41
訪問看護(件)	73	70	273
出前講座(回・人)	17・260	40・564	32・472
院内健康教室(回・人)	50・664	49・419	46・317

先進的な精神科医療の提供

矢吹病院(196床)

院長 橋高 一



◆明るく開放的で快適な病院への建替

- 先進的な精神科医療を担う「こころの医療センター(仮称)」として全面建替を行うため、実施設計まで完了、解体工事に着手

◆措置入院者等の受入

- 自分や他人を傷つける危険が高いと診断された者の入院を受入れ、地域で生活できるよう、関係機関と連携した退院後の支援を実施

	H29	H30	R1
措置入院(人)	4	3	9

◆児童思春期外来の実施

- 平成23年8月に開設した児童思春期外来における専門的な診療の実施

	H29	H30	R1
児童思春期外来(人)	2,270	3,181	4,233

◆訪問看護・デイケアの充実

- アウトリーチ(多職種による訪問支援)の実施
- 医療相談室や訪問看護ステーションを中心に患者の地域移行・地域定着支援を実施
- 未治療者やひきこもりの障がい者へのアウトリーチによる早期発見・治療の促進

	H29	H30	R1
訪問看護(人/日)	15.9	19.2	17.4
デイケア(人/日)	14.1	12.5	14.2
アウトリーチ(件)	287	82	25

◆精神科救急医療への対応

- 精神科救急医療システム指定医療機関として、救急輪番に対応するとともに、夜間・休日の精神科救急情報センター業務(電話相談・受入先調整)を受託

	H29	H30	R1
休日・時間外診療患者数(人)	27	17	22
休日・時間外入院患者数(人)	33	22	29

震災からの復興・再生を支える安心な医療の提供

ふたば医療センター

附属病院【ふたば】(30床)

センター長(兼)
院長 谷川 攻一



◆地域医療の確保

- 双葉地域唯一の二次救急医療機関として、平成30年4月23日診療開始
- 同地域の救急医療の更なる強化に向け、同年10月29日多目的医療用ヘリの運航を開始
- 令和元年度ヘリ運航件数:65件(H30:35件)

※救急搬送の状況(双葉消防本部管内)

	搬送人数(a)	うち管内搬送(b)	うちふたば搬送	管内搬送率(b/a)
R1	1,057	647	592	61.2
H30	905	503	444	55.6

◆提供する医療機能

- 診療科:救急科・内科
- 救急医療(24時間365日)
- 訪問看護(平成30年7月開始)

	H30	R1
入院(人)	1,338	1,572
外来(人)	2,816	4,352
うち訪問看護(人)	64	183

ふたば復興診療所【リカール】

診療管理者
伊藤 博元



◆地域医療の確保

- 県立医大のバックアップにより、「かかりつけ医」として附属病院と役割分担し、診療を実施
- ◆患者数の動向
- 帰還住民の増加に伴い患者数が増加
- 地域別では、楡葉町と広野町で全体の7割以上
- 年齢別では、全体の7割以上が60歳以上

	H29	H30	R1
内科(人)	4,339	5,131	5,160
整形外科(人)	2,317	2,652	2,972

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和元年7月～8月 改善：令和2年2月
点検結果	【S評価：2項目、A評価：71項目、B評価：14項目、C評価：0項目】 ■ 各部署で病院機能評価項目に基づいて自主点検を実施。 ■ 改善結果について、院内の「病院機能評価プロジェクト会議」において確認した。
改善結果	【S評価：2項目、A評価：72項目、B評価：13項目、C評価：0項目】 ■ B評価からA評価へ改善：3項目 → 「安全確保に向けた情報収集」「物品管理」「災害時対応」 ■ B評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和元年度				平成30年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	84.5%	93.8%	5	接遇改善	81.5%	63.8%	3
	広報誌の発行数等	3回	3回	5	広報紙「かけはし」を5,8,12月の3回発行し、郡内全戸に配布	3回	3回	5
	ホームページ更新数	45回	45回	5	診療情報や入札情報等の更新	45回	45回	5
	交流イベントの開催	2回	2回	5	「南会津商工産業まつり」への出展及び院内コンサート（クリスマス寄席）の開催	2回	2回	5
良質な医療の実践	紹介率	20.6%	20.5%	4	地域内診療所等との相互の紹介の定着化	20.1%	22.1%	5
	逆紹介率	15.6%	18.9%	5	地域内診療所等との相互の紹介の定着化	15.1%	18.2%	5
	病床利用率	59.7%	49.8%	3	「断らない救急」の継続的な取組及び保健福祉施設等との連携	61.4%	61.8%	5
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	12人	10人	3		12人	13人	5
	医療安全研修参加率	90.0%	95.0%	5	感染管理部門研修との共同開催	89.5%	90.0%	5
	資格取得者支援者数	8人	17人	5	訪問看護、精神分野や各種研修等への積極的な参加	4人	7人	5
	経常収支比率	100.1%	99.9%	4		100.1%	99.9%	4
	医業収支比率	62.8%	63.1%	5	保健福祉施設等との連携による入院受入、手術患者の受入	63.5%	67.8%	5
	過年度未収金残高	7.8百万円	5.4百万円	5	督促、催告状、弁護士回収委託	8.1百万円	5.6百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

南会津病院の状況

県立南会津病院			
事業開始年月	S24.7		
年度	R元実績	H30実績	R元-H30
1 施設等の概要			
病床数	【床】98	98	0
100床当たり医師数	【人】11.0	13.3	-2.3
医師数	【人】10	13	-3
100床当たり看護職員数	【人】95.0	92.9	2.1
看護職員数	【人】87	91	-4
2 病院概要			
診療圏の人口	【人】24,291	24,940	-649
診療科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんこう科/眼科/婦人科/皮膚科/神経精神科/神経内科/泌尿器科/漢方内科	内科/外科/整形外科/小児科/麻酔科/耳鼻いんこう科/眼科/婦人科/皮膚科/神経精神科/神経内科/泌尿器科/漢方内科	
3 損益の状況			
病院事業収益	【千円】2,246,336	2,254,833	-8,497
医業収益	【千円】1,374,588	1,473,819	-99,231
（うち一般会計繰入金）	(117,664)	(73,981)	(43,683)
入院収益	【千円】591,739	709,407	-117,668
外来収益	【千円】612,936	630,262	-17,326
その他医業収益	【千円】169,913	134,150	35,763
医業外収益	【千円】870,151	779,464	90,687
（うち一般会計繰入金）	(716,207)	(605,130)	(111,077)
特別利益	【千円】1,597	1,550	47
病院事業費用	【千円】2,251,256	2,257,787	-6,531
医業費用	【千円】2,179,271	2,174,786	4,485
給与費	【千円】1,239,131	1,201,632	37,499
材料費	【千円】273,837	295,761	-21,924
経費	【千円】474,047	461,887	12,160
減価償却費	【千円】149,699	153,325	-3,626
資産減耗費	【千円】8,691	23,918	-15,227
研究研修費	【千円】33,866	38,263	-4,397
医業外費用	【千円】68,663	81,586	-12,923
（うち企業債利息）	(68,663)	(81,586)	(-12,923)
特別損失	【千円】3,322	1,415	1,907
医業収支〔収益-費用〕	【千円】-804,683	-700,967	-103,716
純損益	【千円】-4,920	-2,954	-1,966
収支差補填額（全額一般会計繰入金）	【千円】448,751	336,088	112,663
4 経営分析			
病床利用率	【%】49.8	62.0	-12.2
平均在院日数	【日】19.7	15.3	4.4
入院患者数	【人】17,801	22,165	-4,364
1日平均入院患者	【人】41.8	60.7	-18.9
入院診療単価	【円】33,391	32,013	1,378
外来患者数	【人】57,129	58,328	-1,199
1日平均外来患者	【人】238.0	239.0	-1.0
外来診療単価	【円】10,750	10,826	-76
外来/入院比率	【%】320.9	263.2	57.8

収益増減理由
○入院収益：▲117,668千円 ・常勤医減（内科7人→5人、整形外科3人→2人）による入院患者数の減（▲4,364人） ○外来収益：▲17,326千円 ・常勤医減による外来患者数の減（▲1,199人）

費用増減理由
○医業費用：＋4,485千円 ・退職者の増（1人→5人）による給与費の増（＋37,499千円） ・処方量（患者）減による材料費の減（▲21,924千円（うち薬品費：▲26,632千円）） ・人工透析遠隔診療、電子カルテシステム改修委託等による経費の増（＋12,160千円（うち委託料：＋4,094千円））

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和元年6月～7月 改善：令和2年2月
点検結果	【A評価：80項目、B評価：5項目、C評価：0項目】 ■ 各部署で病院機能評価項目に基づいて自主点検を実施。 ■ 自己点検でB評価と評価された項目を中心に、設備の改善、患者・職員への教育と院内の掲示などを実施した。
改善結果	【A評価：84項目、B評価：1項目、C評価：0項目】 ■ B評価からA評価へ改善：4項目 → 「地域等への情報発信」「受動喫煙防止」「輸血・血液製剤投与」「情報管理方針の明確化」 ■ B評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和元年度				平成30年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	79.0%	77.5%	4	愛ばんしょ外来による健康相談窓口	78.0%	69.0%	3
	広報誌の発行数等	12回	21回	5	町内広報誌の活用	12回	12回	5
	ホームページ更新数	30回	30回	5	診療情報等の更新	30回	28回	4
	交流イベントの開催	4回	7回	5	住民交流事業、七夕・クリスマスコンサート	4回	9回	5
良質な医療の実践	紹介率	29.0%	20.3%	3	管内会議への出席による他病院との連携強化	28.5%	19.0%	2
	逆紹介率	32.0%	32.1%	5	診療応援など他機関との綿密な連携	31.5%	28.0%	3
	病床利用率	46.2%	29.4%	2	管内国保診療所、特別養護老人ホーム等への院内体制周知	46.3%	31.9%	2
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	5人	3人	2		5人	4人	3
	医療安全研修参加率	89.0%	100.0%	5	研修の複数回実施	87.0%	95.4%	5
	資格取得者支援者数	6人	4人	2	医療安全管理者、19重症度、医療・看護必要度評価者院内指導者ほか	4人	6人	5
	経常収支比率	100.0%	94.8%	4		100.0%	100.0%	5
	医業収支比率	39.5%	34.1%	3	紹介患者の積極的受入	38.2%	34.1%	3
	過年度未収金残高	0.3百万円	0.3百万円	5	督促	0.4百万円	0.3百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

宮下病院の状況

県立宮下病院			
事業開始年月	S26.11		
年度	R元実績	H30実績	R元-H30
1 施設等の概要			
病床数	【床】32	32	0
100床当たり医師数	【人】14.0	15.6	-1.6
医師数	【人】3	4	-1
100床当たり看護職員数	【人】104.0	93.1	10.9
看護職員数	【人】26	27	-1
2 病院概要			
診療圏の人口	【人】8,001	7,965	36
診療科	内科/外科/整形外科/皮膚科/耳鼻いんごう科/精神科	内科/外科/整形外科/皮膚科/耳鼻いんごう科/精神科	
3 損益の状況			
病院事業収益	【千円】683,498	718,856	-35,358
医業収益	【千円】232,877	243,787	-10,910
（うち一般会計繰入金）	(30,276)	(32,362)	(-2,086)
入院収益	【千円】88,654	96,663	-8,009
外来収益	【千円】96,685	96,967	-282
その他医業収益	【千円】47,538	50,157	-2,619
医業外収益	【千円】415,857	474,953	-59,096
（うち一般会計繰入金）	(370,621)	(430,464)	(-59,843)
特別利益	【千円】34,764	116	34,648
病院事業費用	【千円】684,578	719,812	-35,234
医業費用	【千円】682,270	715,841	-33,571
給与費	【千円】428,495	463,759	-35,264
材料費	【千円】33,909	35,582	-1,673
経費	【千円】156,396	148,964	7,432
減価償却費	【千円】47,417	48,099	-682
資産減耗費	【千円】2,097	646	1,451
研究研修費	【千円】13,956	18,791	-4,835
医業外費用	【千円】1,718	1,904	-186
（うち企業債利息）	(1,718)	(1,904)	(-186)
特別損失	【千円】590	2,067	-1,477
医業収支〔収益-費用〕	【千円】-449,393	-472,054	22,661
純損益	【千円】-1,080	-956	-124
収支差補填額（全額一般会計繰入金）	【千円】313,550	374,215	-60,665
4 経営分析			
病床利用率	【%】29.4	31.9	-2.5
平均在院日数	【日】14.2	15.8	-1.6
入院患者数	【人】3,448	3,726	-278
1日平均入院患者	【人】9.4	10.2	-0.8
入院診療単価	【円】25,777	25,992	-215
外来患者数	【人】13,355	14,411	-1,056
1日平均外来患者	【人】55.9	59.1	-3.2
外来診療単価	【円】7,289	6,760	529
外来/入院比率	【%】387.3	386.8	0.6

収益増減理由
○入院収益：▲8,009千円 ・常勤医減（内科3人→2人）による入院患者数の減（▲278人） ○外来収益：▲282千円 ・高齢者等通院困難者の受診回数減による外来患者数の減（▲1,056人）

費用増減理由
○医業費用：▲33,571千円 ・常勤医減（4人→3人）による給与費の減（▲35,264千円） ・外部応援医師の増による経費の増（+7,432千円（うち報償費：+9,920千円）） ・医学研究費補助金の減等による研究研修費の減（▲4,835千円）

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和元年12月　改善：令和2年2月
点検結果	【A評価：58項目、B評価：28項目、C評価：0項目】 ■ 各部署で病院機能評価項目に基づいて自主点検を実施。 ■ 検討組織を設置して、利点、課題を明確にすることで、改善を進めることとしている。 ※ 新型コロナウイルス感染症の影響で、R2.3月実施予定の認定更新調査（外部審査）が延期されている。
改善結果	【A評価：61項目、B評価：25項目、C評価：0項目】 ■ B評価からA評価へ改善：4項目 → 「感染制御に向けた情報収集」「受動喫煙防止」「来院患者の円滑な診察」「任意入院の管理」 ■ B評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和元年度				平成30年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	74.0%	78.0%	5	接遇研修、接遇チェックリスト	73.0%	74.0%	5
	広報誌の発行数等	2回	2回	5	広報誌「彩雲」（9.3月 各1,000部）	2回	2回	5
	ホームページ更新数	105回	76回	3	診療情報、入札情報等の更新	105回	100回	4
	交流イベントの開催	2回	0回	1		2回	3回	5
良質な医療の実践	紹介率	63.0%	56.1%	3	地域医療連携室で専任2名体制	63.0%	54.5%	3
	逆紹介率	27.0%	27.3%	5	地域医療連携室で専任2名体制	27.0%	18.9%	3
	病床利用率	82.2%	70.6%	3	断らない医療（予約無し直来患者対応のため責任番配置、休日・夜間の受入）	81.5%	68.3%	3
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	9人	9人	5		9人	8人	3
	医療安全研修参加率	95.0%	97.0%	5	一つのテーマを4回実施	95.0%	98.0%	5
	資格取得者支援者数	1人	1人	5	医療安全管理者養成研修への派遣	1人	1人	5
	経常収支比率	100.7%	99.8%	4		100.1%	100.5%	5
	医業収支比率	50.0%	57.0%	5	入院収益、外来収益ともに増加	49.8%	50.5%	5
	過年度未収金残高	4.0百万円	4.1百万円	4	督促、出張徴収、弁護士回収委託	4.0百万円	3.3百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

矢吹病院の状況

県立矢吹病院			
事業開始年月	S30.11		
年度	R元実績	H30実績	R元-H30
1 施設等の概要			
病床数	196	196	0
100床当たり医師数	6.9	6.0	0.9
医師数	9	8	1
100床当たり看護職員数	66.3	68.6	-2.3
看護職員数	89	91	-2
2 病院概要			
診療圏の人口	268,545	271,053	-2,508
診療科	精神科/内科/歯科	精神科/内科/歯科	
3 損益の状況			
病院事業収益	2,000,213	1,744,731	255,482
医業収益	1,140,206	875,062	265,144
（うち一般会計繰入金）	(254,783)	(50,475)	(204,308)
入院収益	651,186	614,131	37,055
外来収益	191,750	177,712	14,038
その他医業収益	297,270	83,219	214,051
医業外収益	859,344	868,799	-9,455
（うち一般会計繰入金）	(820,739)	(812,516)	(8,223)
特別利益	663	870	-207
病院事業費用	2,003,177	1,746,517	256,660
医業費用	1,999,320	1,731,993	267,327
給与費	1,573,182	1,335,915	237,267
材料費	111,931	92,781	19,150
経費	196,833	187,096	9,737
減価償却費	67,334	74,599	-7,265
資産減耗費	827	810	17
研究研修費	49,213	40,792	8,421
医業外費用	3,252	2,538	714
（うち企業債利息）	(2,214)	(2,538)	(-324)
特別損失	605	11,986	-11,381
医業収支〔収益・費用〕	△ 859,114	△ 856,931	-2,183
純損益	△ 2,964	△ 1,786	-1,178
収支差補填額 （全額一般会計繰入金）	592,991	597,366	-4,375
4 経営分析			
病床利用率	70.6	68.3	2.3
平均在院日数	227.9	220.7	7.2
入院患者数	37,725	36,423	1,302
1日平均入院患者	103.1	99.8	3.3
入院診療単価	17,262	16,861	401
外来患者数	23,256	22,331	925
1日平均外来患者	96.9	91.5	5.4
外来診療単価	8,380	7,958	422
外来/入院比率	61.6	61.3	0.3

収益増減理由
○入院収益：+37,055千円 ・入院患者の在院日数が延びたことによる入院患者数の増（+1,302人） ○外来収益：+14,038千円 ・児童思春期外来の体制充実等による外来患者数の増（+925人）

費用増減理由
○医業費用：+267,327千円 ・退職者の増（2人→13人）等による給与費の増（+237,267千円） ・服薬管理の難しい経口薬から持続性のある注射薬への切替による材料費の増（+19,150千円（うち薬品費：+12,726千円）） ・病院機能評価委託等による経費の増加（+9,737千円（うち委託料：+4,485千円））

一般会計繰入金説明
政策医療に係る経費の収支差補填

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和2年2月
点検結果	【A評価：61項目、B評価：23項目、C評価：0項目】 ■ 各部署で病院機能評価項目に基づいて自主点検を実施。 ■ 病院機能評価受審準備室を設置し、外部審査を含めた点検及び改善に向けた院内体制を整えた。
改善結果	■ 点検初年度のため、院内体制整備を図りながら、自主点検を実施。 ■ 外部評価受審に向けて、特にB評価の項目について、改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和元年度				平成30年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	90.0%	85.8%	4	ご意見箱設置	—	90.0%	—
	広報誌の発行数等	2回	1回	2	病院祭のチラシ発行	—	2回	—
	ホームページ更新数	12回	12回	5	診療情報等の更新、ツイッターによる情報発信	—	9回	—
	交流イベントの開催	2回	2回	5	病院祭、ふたばワールド出店	—	2回	—
良質な医療の実践	紹介率	35.0%	58.5%	5	他医療機関の地域連携室との連携	—	31.4%	—
	逆紹介率	24.0%	72.5%	5	他医療機関の地域連携室との連携	—	21.8%	—
	病床利用率	14.0%	14.3%	5	24時間365日対応で救急患者受入	—	13.0%	—
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	2人	2人	5		—	2人	—
	医療安全研修参加率	98.0%	64.4%	2	研修の複数回実施	—	98.0%	—
	資格取得者支援者数	4人	2人	2	看護師特定行為、骨粗鬆症マネージャー	—	4人	—
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5		—	100.0%	—
	医業収支比率	11.0%	10.3%	4	24時間365日対応で救急患者受入	—	10.2%	—
	過年度未収金残高	0.6百万円	0.3百万円	5	督促	—	0.7百万円	—

※ 前年度実績値比：増加→緑色、減少→赤色

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

ふたば医療センター附属病院の状況

県ふたば医療センター附属病院				
事業開始年月		H30.4		
年度		R元実績	H30実績	R元-H30
1	施設等の概要			
	病床数【床】	30	30	0
	100床当たり医師数【人】	24.0	14.0	10.0
	医師数【人】	1	1	0
	100床当たり看護職員数【人】	86.7	100.0	-13.3
	看護職員数【人】	25	30	-5
2	病院概要			
	診療圏の人口【人】	61,155	62,336	-1,181
	診療科	内科、救急科	内科、救急科	
3	損益の状況			
	病院事業収益【千円】	1,111,555	1,114,550	-2,995
	医業収益【千円】	113,245	113,529	-284
	（うち一般会計繰入金）	(5,074)	(36,159)	(-31,085)
	入院収益【千円】	50,548	29,864	20,684
	外来収益【千円】	53,720	32,817	20,903
	その他医業収益【千円】	8,977	50,848	-41,871
	医業外収益【千円】	986,261	1,001,021	-14,760
	（うち一般会計繰入金）	(129,629)	(165,844)	(-36,215)
	特別利益【千円】	12,049	0	12,049
	病院事業費用【千円】	1,110,136	1,114,199	-4,063
	医業費用【千円】	1,097,093	1,114,199	-17,106
	給与費【千円】	320,814	348,123	-27,309
	材料費【千円】	37,730	36,680	1,050
	経費【千円】	556,006	541,112	14,894
	減価償却費【千円】	170,873	163,551	7,322
	資産減耗費【千円】	425	24	401
	研究研修費【千円】	11,245	24,709	-13,464
	医業外費用【千円】	0	0	0
	（うち企業債利息）	(0)	(0)	(0)
	特別損失【千円】	13,043	0	13,043
	医業収支〔収益-費用〕【千円】	-983,848	-1,000,670	16,822
	純損益【千円】	1,419	351	1,068
	収支差補填額【千円】	685,326	671,424	13,902
	（全額地域医療復興事業補助金）			
4	経営分析			
	病床利用率【%】	14.3	13.0	1.3
	平均在院日数【日】	6.5	7.8	-1.3
	入院患者数【人】	1,572	1,338	234
	1日平均入院患者【人】	4.3	3.9	0.4
	入院診療単価【円】	32,161	22,328	9,833
	外来患者数【人】	4,352	2,816	1,536
	1日平均外来患者【人】	11.9	8	3.9
	外来診療単価【円】	12,924	11,702	1,222
	外来/入院比率【%】	276.8	210.5	66.4

収益増減理由
○入院収益：+20,684千円 ・地域診療所等からの紹介件数増による入院患者数の増（+234人） ○外来収益：+20,903千円 ・訪問看護、医療機関との連携促進等による外来患者数の増（+1,536人）

費用増減理由
○医業費用：▲17,105千円 ・退職者の減（5人→3人）による給与費の減（▲27,309千円） ・開院時導入医療機器の保守委託開始による経費の増（+14,894千円（うち委託料：+33,341千円）

地域医療復興事業補助金説明
運営経費の収支差補填

1 病院機能評価を活用した点検状況

点検方法	自主点検
実施時期	点検：令和元年12月 改善：令和2年3月
点検結果	【A評価：14項目、B評価：43項目、C評価：0項目】 ■ 無床診療所のため、病院機能評価項目のうち対象となる項目を抽出し、自主点検を実施。 ■ C評価は無かったが、「良質な医療の実践」や「理念達成に向けた組織運営」において、A評価の割合が少なかった。
改善結果	【S評価：2項目、A評価：21項目、B評価：34項目、C評価：0項目】 ■ A評価からS評価へ改善：2項目 → 「高齢者・障害者に配慮した施設・設備」「職員に魅力ある職場」 ■ B評価の項目について、引き続き改善に取り組んでいく。

2 数値目標の達成状況

評価分野	評価項目	令和元年度				平成30年度		
		目標値	実績値	評価	主な取組状況	目標値	実績値	評価
患者中心の医療の推進	患者満足度・家族満足度	75.0%	90.4%	5	飲料水の提供、雑誌・新聞の配置	75.0%	88.8%	5
	広報誌の発行数等	－	－	－		－	－	－
	ホームページ更新数	24回	24回	5	診療情報等の随時	24回	24回	5
	交流イベントの開催	－	－	－		－	－	－
良質な医療の実践	紹介率	12.0%	11.3%	4	ふたば医療センター附属病院等との連携	12.0%	11.0%	4
	逆紹介率	9.0%	8.7%	4	ふたば医療センター附属病院等との連携	9.0%	8.5%	4
	病床利用率	－	－	－		－	－	－
理念達成に向けた組織運営	常勤医師数	－	－	－		－	－	－
	医療安全研修参加率	100.0%	100.0%	5	職員への周知徹底	100.0%	100.0%	5
	資格取得者支援者数	－	－	－		－	－	－
	経常収支比率	100.0%	100.0%	5		100.0%	100.0%	5
	医業収支比率	32.5%	42.9%	5	地域に寄り添った医療の提供	32.5%	39.5%	5
	過年度未収金残高	0.0百万円	0.0百万円	5	督促	0.01百万円	0.01百万円	5

※ 前年度実績値比：増加→緑色

○病院機能評価の評価基準

S	秀でている
A	適切に行われている
B	一定の水準に達している
C	一定の水準に達しているとはいえない

○自己評価基準

【5】	目標値を上回った。達成度100%以上
【4】	目標値を達成できた。達成度90%以上
【3】	目標値をほぼ達成できた。達成度70%以上
【2】	目標値を下回った。達成度50%以上
【1】	目標値を大きく下回った。達成度50%未満

ふたば復興診療所の状況

県ふたば医療センター附属ふたば復興診療所			
事業開始年月		H28.2	
年度		R元実績	H30実績
1 施設等の概要			
病床数	【床】	－	－
100床当たり医師数	【人】	－	－
医師数（非常勤）	【人】	(1)	(1)
100床当たり看護職員数	【人】	－	－
看護職員数	【人】	5	5
2 病院概要			
診療圏の人口	【人】	61,155	62,336
診療科	内科/整形外科	内科/整形外科	
3 損益の状況			
病院事業収益	【千円】	243,579	219,499
医業収益	【千円】	102,147	87,879
（うち一般会計繰入金）		(0)	(1,140)
入院収益	【千円】	－	－
外来収益	【千円】	101,442	86,076
その他医業収益	【千円】	705	1,803
医業外収益	【千円】	136,866	131,310
（うち一般会計繰入金）		(5,333)	(5,956)
特別利益	【千円】	4,566	310
病院事業費用	【千円】	243,264	219,261
医業費用	【千円】	238,353	219,092
給与費	【千円】	81,911	82,301
材料費	【千円】	57,613	44,484
経費	【千円】	73,098	73,510
減価償却費	【千円】	25,488	18,466
資産減耗費	【千円】	93	102
研究研修費	【千円】	150	229
医業外費用	【千円】	20	18
（うち企業債利息）		(20)	(18)
特別損失	【千円】	4,891	151
医業収支〔収益・費用〕	【千円】	-136,206	-131,213
純損益	【千円】	315	238
収支差補填額	【千円】	106,605	107,455
（全額地域医療復興事業補助金）			
4 経営分析			
病床利用率	【%】	－	－
平均在院日数	【日】	－	－
入院患者数	【人】	－	－
1日平均入院患者	【人】	－	－
入院診療単価	【円】	－	－
外来患者数	【人】	8,132	7,783
1日平均外来患者	【人】	33.9	32.0
外来診療単価	【円】	12,431	11,197
外来/入院比率	【%】	－	－

収益増減理由
○外来収益：+15,366千円 ・ 檜葉町の帰還住民の増加及び定期通院患者の再診（かかりつけ）化による患者数の増（+349人） ● 檜葉町居住人口 H31年3月末：3,678人 R2年3月末：3,937人(+259人)

費用増減理由
○医業費用：+19,261千円 ・ 薬価の高い循環器系患者の増による材料費の増（+13,129千円（薬品費：+12,192千円））

地域医療復興事業補助金説明
運営経費の収支差補填

Ⅲ 経営の効率化に向けた取組状況

1 患者数の状況

(単位:人、%)

区 分 病院名	延 入 院 患 者 数				延 外 来 患 者 数			
	R1年度	H30年度	増減	増減率	R1年度	H30年度	増減	増減率
南会津	17,801	22,165	△ 4,364	△ 19.7	57,129	58,328	△ 1,199	△ 2.1
宮 下	3,448	3,726	△ 278	△ 7.5	13,355	14,411	△ 1,056	△ 7.3
矢 吹	37,725	36,423	1,302	3.6	23,256	22,331	925	4.1
ふたば	1,572	1,338	234	17.5	4,352	2,816	1,536	54.5
リカーレ	—	—	—	—	8,132	7,783	349	4.5
合 計	60,546	63,652	△ 3,106	△ 4.9	106,224	105,669	555	0.5

*延入院患者数減の主な要因・・・(南会津)常勤医師の減、肺炎・感染症等による入院患者の減 など

*延外来患者数増の主な要因・・・(矢吹)児童・思春期外来への受診者の増加
(ふたば)地域連携の促進、訪問看護の強化 など

2 県立病院事業の決算額

(単位:百万円)

年 度	H29	H30	R1
病 院 事 業 収 益	7,003	6,985	7,546
病 院 事 業 費 用	7,114	6,940	7,180
当年度純損益	▲ 111	45	366

*R元年度純損益の主な要因・・・旧喜多方病院跡地売却益(約1億円)、旧会津総合病院看護師寮跡地売却益(約2.6億円)など

損益の状況 (消費税抜)

(単位:百万円、%)

区 分	R1年度 (A)	H30年度 (B)	増減 (A－B)	増減率
病 院 事 業 収 益	7,546	6,985	561	8.0
医 業 収 益	2,993	2,816	177	6.3
うち入院収益	1,382	1,450	▲ 68	▲ 4.7
うち外来収益	1,057	1,024	33	3.2
うちその他医業収益	554	342	212	62.0
医 業 外 収 益	3,994	4,076	▲ 82	▲ 2.0
一般会計負担金等	2,402	2,424	▲ 22	▲ 0.9
特 別 利 益	559	93	466	501.1
病 院 事 業 費 用	7,180	6,940	240	3.5
医 業 費 用	6,808	6,673	135	2.0
医 業 外 費 用	218	235	▲ 17	▲ 7.2
特 別 損 失	154	32	122	381.3
当 年 度 純 損 益	366	45	321	713.3

3 収支計画の目標1：政策医療経費

一般会計繰入金のうち、「政策医療に係る経費」については、

県立病院が政策的医療を提供しながら、経営の効率化を目指すために定めた

改革プランの目標額以下とする。

<政策医療に係る経費>

(単位:百万円)

年 度	H29	H30	R1	R2	R3
目 標 額	1,456	1,407	1,384	1,383	
決 算 額	1,385	1,308	1,355		

【病院別の政策医療に係る経費(決算額)】

矢 吹 病 院	587	598	593	一般会計繰入金	
宮 下 病 院	369	374	313		
南 会 津 病 院	429	336	449		
ふ た ば	—	671	685	参考:地域医療復興事業補助金	
リ カ ー レ	123	108	107		

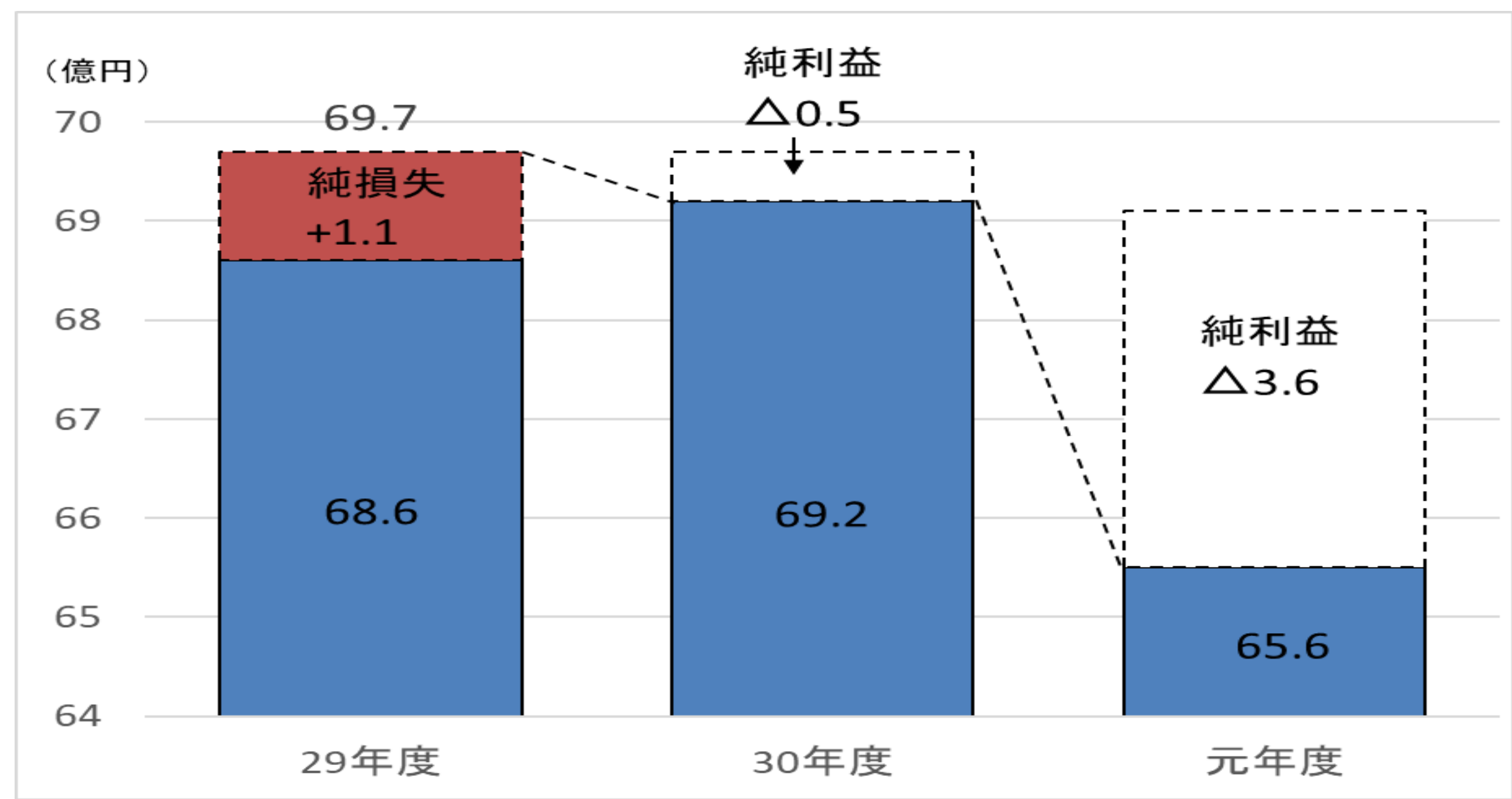
* 決算額前年度比で4,700万円増、改革プラン目標額比で2,900万円減の13億5,500万円となった。
病院別では、前年度比で矢吹、宮下病院が、それぞれ500万円、6,100万円の減、南会津病院は、1億1,300万円の増となった。

なお、ふたば医療センター附属病院、ふたば復興診療所(リカーレ)では、政策医療に係る経費として、地域医療復興事業補助金を受け入れているため、引き続き財源確保が必要となる。

4 収支計画の目標2：累積欠損金の処理状況

収益確保・費用削減に努めるとともに、様々な手段を講じ、削減に取り組む。

<欠損金残高>



* 累積欠損金については、旧喜多方病院跡地、旧会津総合病院看護師寮跡地等の売却により、前年度比で3億6,600万円減の65億6,270万円となった。

引き続き、改革プラン計画期間中の目標値60億4,000万円を目指して、残る未利用財産の売却に取り組む。